

Sports Graphic
Number

Sports Graphic
NumberWeb

トップインタビュー企画

Ver 1.0

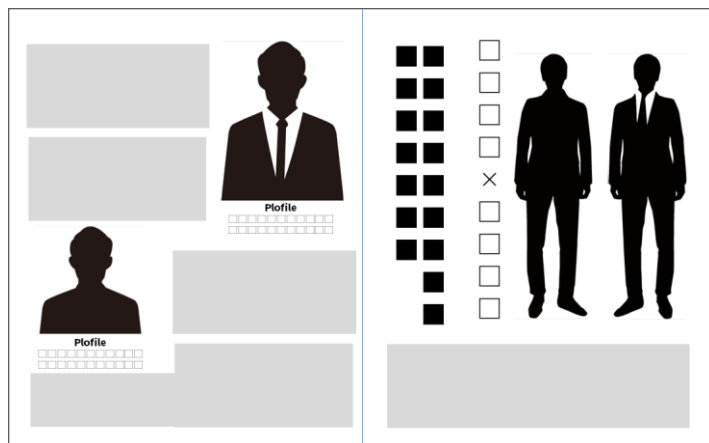
スポーツに携わる企業のトップ、事業のキーパーソンの方へ
スポーツ界の著名人からインタビューを行うNumber本誌・
NumberWeb 双方を活用した企画です。
スポーツをハブにするからこそ社会に提供していきたい企業
価値や目的を、広く・速く・深くステークホルダーへ届ける
ことができます。

期間限定広告企画
2023年6月末までの申込

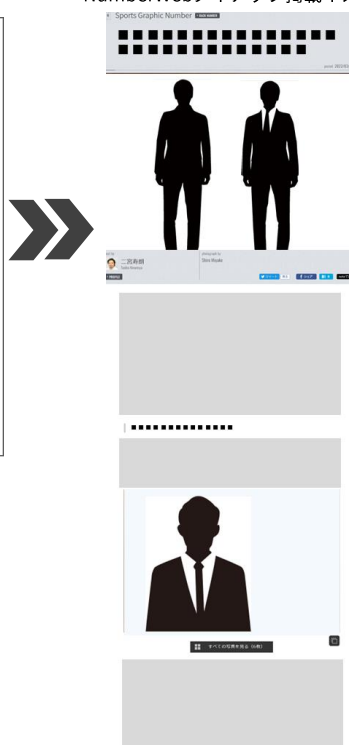
スポーツに携わる企業のトップ、事業のキーパーソンの方へスポーツ界の著名人からインタビューを行うNumber本誌・NumberWeb 双方を活用した企画です。
スポーツをハブにするからこそ社会に提供していきたい企業価値や目的を、広く・速く・深くステークホルダーへ届けることができます。

展開概要・誌面構成イメージ

Number 本誌タイアップ掲載イメージ



NumberWebタイアップ掲載イメージ



対談テーマ案

- ・スポーツを支援する意義・目的
- ・スポーツを通じて伝えたい価値
- ・スポーツを支えるテクノロジー・商品・サービス
- ・人材育成・多様性・戦略・戦術・チームビルディング など

出演候補者

有森裕子、井上康生、岡田武史、杉山愛、谷真海、為末大、トム・ホーバス、野口啓代、野村忠宏、廣瀬俊朗、槇野智章、松田丈志、室伏広治 他（五十音順・敬称略）

スペシャル対談企画

本誌
4c4pTU+
Web転載
特別価格

6,000,000円

- ・ Number本誌4c4pTU掲載費・制作費
↳Number本誌での掲載は片起こし想定
- ・ NumberWebへの転載費（4週間期間保証）
- ・ 出演費*

本誌
4c2pTU+
Web転載
特別価格

4,000,000円

- ・ Number本誌4c2pTU掲載費・制作費
↳Number本誌での掲載は見開き想定
- ・ NumberWebへの転載費（4週間期間保証）
- ・ 出演費*

適用期間

2023年6月末日までのお申込み

申込締切

発売日の40営業日前程度

備考

- ・ 出演候補者の起用は確約ではありません。
- ・ 出演者によっては、金額が変動する可能性があります。
- ・ 取材先が遠方の場合、別途費用が発生します
- ・ NumberWebへのタイアップ転載時の仕様については『メディアガイドp14：“コンテンツ型ネイティブ広告【期間保証型】”』をご参照ください。

オプション

抜き刷り



タイアップ誌面にリデザインを施した、抜き刷り制作が可能です

45万円～（4c4p・1万部）

*リデザイン・用紙・製本・印刷・1か所送料込

人選候補者



室伏広治
(むろふしこうじ)

1974年生、愛知県出身。ハンマー投選手、スポーツ科学者、国家公務員。東京医科歯科大学教授、第2代スポーツ庁長官。
2004年アテネオリンピック ハンマー投の金メダリスト。陸上・投擲種目で金メダルを獲得したのはアジア人史上初の快挙。ハンマー投のアジア記録・日本記録保持者。日本選手権で前人未到の20連覇を達成。
2020年より第2代スポーツ庁長官に就任。



岡田武史
(おかだたけし)

1956年生、大阪府出身。日本の元サッカー選手、サッカー指導者。現在はFC今治運営会社「株式会社今治・夢スポーツ」代表取締役、日本エンタープライズの社外取締役、城西国際大学特任教授、日本サッカー協会参与（名誉役員）、ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ理事。フランスW杯（1998）、南アフリカW杯（2010）の代表監督を務める。南アフリカ大会では国外開催大会で初めてのワールドカップ決勝トーナメント進出に導く。



トム・ホーバス

1967年生、アメリカ・コロラド州出身。バスケットボール指導者で元NBA選手。現役時代のポジションはスモールフォワード。
2017年1月よりバスケットボール女子日本代表のヘッドコーチを務め2020東京オリンピックでチームを銀メダルに導いた。
2021年9月よりバスケットボール男子日本代表のヘッドコーチを務めている。



井上康生
(いのうえこうせい)

1978年生、宮城県出身。柔道家（七段）、柔道指導者。東海大学教授。
シドニー（2000）で金メダルを獲得。2016年、監督として初めて挑んだリオデジャネイロオリンピックでは、男子は金メダル2個を含む7階級全てでメダルを獲得し、低迷が続いていた男子柔道を復活に導き、2021年東京五輪では史上最多5個の金メダルに導いた。

人選候補者



有森裕子
(ありもりゆうこ)

1966年生、岡山県出身。元マラソン選手。
バルセロナ（1992）とアトランタオリンピック（1996）の女子マラソンで銀メダルと銅メダルを獲得。現在、国際オリンピック委員会（IOC）スポーツと活動的委員会委員、日本陸上競技連盟理事、ハート・オブ・ゴールド代表理事、スペシャルオリンピックス日本理事長、大学スポーツ協会（UNIVAS）副会長、等の要職を務めている。2010年、国際オリンピック委員会（IOC）女性スポーツ賞を、日本人として初めて受賞。



為末大
(ためすえだい)

1978年生、広島県出身。男子元陸上競技選手。400mハードル日本記録保持者で、現在はスポーツコメンテーター・タレント・指導者などで活動中。株式会社R.project取締役。株式会社侍代表取締役。
愛称は、“走る「哲学者」”



廣瀬俊朗
(ひろせとしあき)

1981年生、大阪府出身。日本の元ラグビーユニオン選手。15人制日本代表キャプテン及び、7人制日本代表。
株式会社HiRAKU代表取締役として、ラグビーに限定せずスポーツの普及、教育、食、健康に重点をおいた様々なプロジェクトに取り組んでいる。慶應義塾大学理工学部 卒業。
2023年現在日本テレビ系列 news zero 木曜パートナーとして出演中。



杉山愛
(すぎやまあい)

1975年生、神奈川県出身。元女子プロテニス選手、テニス指導者。自己最高ランキングはシングルス8位、ダブルス1位。
引退後は、テニス普及活動などを進める傍ら、テレビのテニス中継の解説者を務めたり、情報番組のコメンテーターとして出演など活躍の場を多方面に広げている。
2023年度より女子の国別対抗戦であるビリー・ジーン・キング・カップを戦う日本代表監督に就任。

人選候補者



野村忠宏
(のむらただひろ)

1974年生、奈良県出身。柔道家、体育学者、医学者。名城大学薬学部特任教授。株式会社Nextend（ネクステンド）代表取締役。アトランタ（1996）シドニー（2000）で2連覇を達成。2年のブランクを経てアテネ（2004）で柔道史上初、また全競技を通じてアジア人初となるオリンピック3連覇を達成。40歳で現役を引退。国内外にて、柔道の普及活動を展開。テレビでのキャスターやコメンテーターとしても活躍。自身の柔道経験を元に講演活動も多数行い、全国を飛び回っている。



野口啓代
(のぐちあきよ)

1989年生、茨城県出身。スポーツクライマー。夫はスポーツクライマーの檜崎智亜。2021年8月6日、2020年東京オリンピック（新競技）スポーツクライミング 女子複合決勝で銅メダルを獲得し現役を引退。引退後はクライミングの普及のため様々な活動に尽力している。



槇野智章
(まきのともあき)

1987年生、広島県出身。元プロサッカー選手。現役時代のポジションはディフェンダー、元日本代表。高い身体能力と闘争心を持ち、1対1の局面での強さに定評がある。サンフレッチェ広島を中心として活躍した後、ドイツの古豪FCケルン、浦和レッズを経て、ヴィッセル神戸に移籍。2022年12月24日に放送された日本テレビ『Going!Sports&News』の冒頭で現役引退を発表した後、多方面で活躍中。

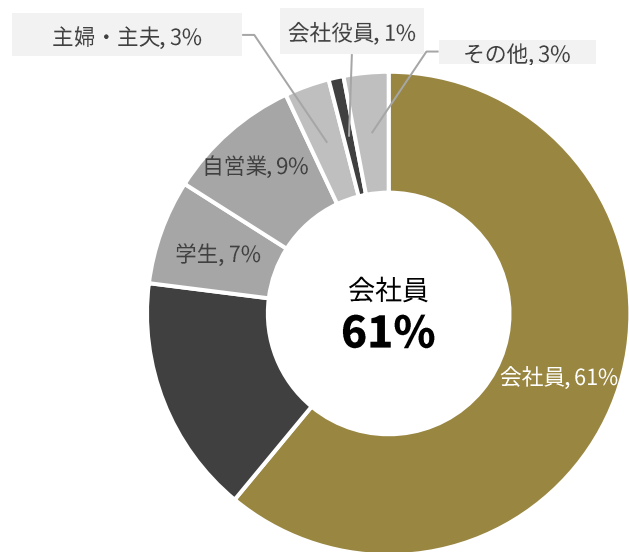
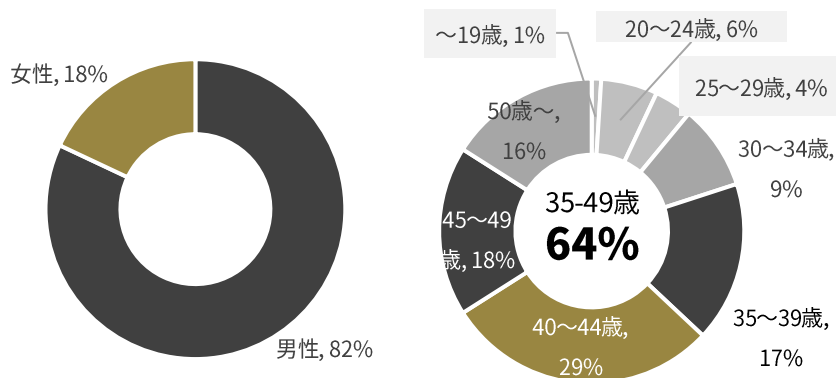


谷真海
(たにまみ)

1982年生、宮城県出身。女子陸上選手、パラトライアスロン選手でパラリンピック選手。陸上競技では主に走幅跳を競技種目としている。旧姓は佐藤。早稲田大学へ進学し、応援部チアリーダーズとして活動する。在学中の2001年、骨肉腫発症により2002年4月に右足膝以下を切断し、水泳でリハビリしながら陸上競技でのパラリンピック出場を目指し、卒業後にサントリーへ入社。2013年9月、アルゼンチンのブエノスアイレスで開催されたIOC総会の最終プレゼンテーションを行い2020東京オリンピック・パラリンピック招致に貢献。

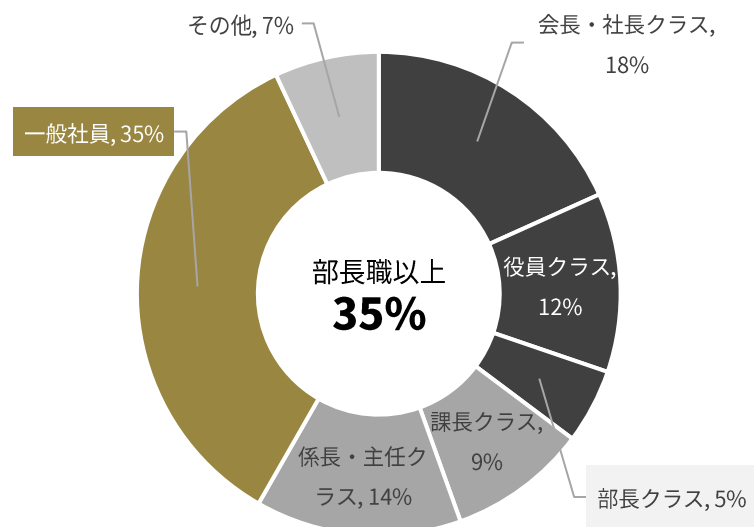
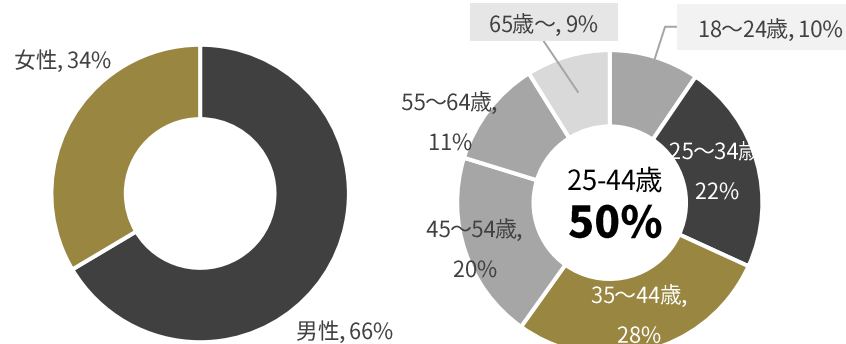
企業の中核を担う、30～40代ビジネスパーソンをメイン読者として抱える

Number本誌 読者プロフィール



Data：869号誌面読者アンケート

NumberWeb 読者プロフィール



Data：性・年齢（GoogleAnalytice 2022.8-2023.1）、役職（2021自社データ）

タイアップ広告のお問い合わせ

株式会社文藝春秋 メディア事業局
Numberチーム

お問い合わせ専用メールアドレス
ad.number-g@bunshun.co.jp

〒102-8008 東京都千代田区紀尾井町3-23

文藝春秋が発行するメディアの各種メディアガイドや特集予定、最新情報をご覧ください
<https://www.bunshun.co.jp/ads/>

